

第71回全日本中学生通信陸上競技 北海道道央・小樽後志大会 競技者注意事項

- 1、本競技会は2025年度、日本陸上競技連盟競技規則及び本競技会規則により運営する。
- 2、競技者の招集は招集所で自分のナンバーに○をつけて、各々の競技場所に招集終了時刻に移動すること。
※ただし、リレー競技のみ、本部入口前で点呼を行い、競技者係の指示に従い移動すること。
招集所はゴール側用器具庫前に設ける。○をつけていないものは、その競技に出場することは出来ない。
- 3、招集時刻は次の通りとする

	(招集開始時間)		(招集終了時間)	
トラック・四種競技	競技開始	35分前	～	競技開始 15分前
フィールド・四種競技		40分前	～	競技開始 25分前
砲丸投・円盤投	競技開始	35分前	～	競技開始 20分前
走高跳・走幅跳	競技開始	35分前	～	競技開始 20分前
棒高跳	競技開始	60分前	～	競技開始 45分前
- 4、招集時間に遅れたものは、その競技に出場することは出来ない。
- 5、トラック競技出場者は腰NC(1～9)を持参すること。右腰斜め後方に正しくつけること。
リレーはアンカーがつける。
10番以降の腰ナンバーについては、主催者が用意する。
3000m 出場者は 腰NCの他にコースNCを胸につける。
10番以降の腰NC・コースNC共にゴール後直ちにはずし、ゴール地点に準備された返却ボックスに戻すこと。
- 6、2種目以上の種目に出場するものが、競技時間が重なりそうな場合
①招集所で2種目とも○をつけ、競技者係の担当者にその旨を伝えること。
②トラック種目のスタート時間まではフィールド種目を優先し、移動をする時は審判員に申し出ること。
③トラック競技に出場中、フィールド競技のラウンドは進行する。元のラウンドに戻って競技することは出来ない。
- 7、リレー競技のオーダー用紙は競技者係から受け取り、**リレー競技1組目の招集終了60分前までに**
競技者係へ提出すること。
- 8、トラック種目のレーン、フィールド種目の試技順は、プログラム記載順とする。
- 9、トラック種目の準決勝、決勝のレーン順は本部で決定し、掲示で知らせる。
- 10、走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。
但し、天候などにより審判長判断で変更する場合がある。

男子	走高跳	練習 1m15	試技 1m20	以後 5cmアップ	～	1m55	以降 3cmアップ
女子	走高跳	練習 1m05	試技 1m10	以後 5cmアップ	～	1m25	以降 3cmアップ
男・女	棒高跳	練習と開始試技の高さは当日決定		開始試技から10cmアップ			

四種競技・小学生

男子	走高跳	練習と開始試技の高さは当日決定		開始試技から5cmアップ	～	1m40	以降 3cmアップ
女子	走高跳	練習と開始試技の高さは当日決定		開始試技から5cmアップ	～	1m25	以降 3cmアップ
- 11、競技に使用する用具は、競技場備え付けの物を使用すること。
- 12、競技者以外が場内に入ってはいけない。規制ロープ外で応援すること。
- 13、競技者としての自覚を持ち、見苦しい服装や態度をとらないこと。なお、競技者の服装は、大会規則に定める範囲とする。
- 14、練習のため下記の場所を指定された時間内で使用することを許可する。 **いずれも順走のこと。**
第2コーナー ～ 第3コーナー中間地点(水郷のあたり) 100m 100mH 110mH の競技時間内
第2コーナー ～ 第3コーナー手前(直線真ん中付近まで) 200mの競技時間内
フィールド内での練習は、朝の解放以外禁止する。**投擲の朝の解放時の練習は禁止する。**
- 15、決勝が2レースある種目は、道央決勝と小樽後志決勝に振り分け、道南地区の不足分は道央地区の9番目以降の競技者で構成する。ただし、道央の決勝ではないので、入賞することはない。
(標準記録を突破すれば、全道大会への出場はできる)
- 16、表彰は行わないので、入賞者は本部入口にある賞状置き場から賞状を受け取ること。
- 17、小学生・中学生の競技会であることを自覚した行動をおこなうこと。